

## 2021 年度事業報告書

2021 年度の諸事業は、3 月の理事会で承認された事業計画を順次実施した。

### ■ 4 つの事業関係

#### 1)【芸術活動助成】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第 4 条1の事業)

2021 年度の芸術活動助成事業は、2021 年 2 月 12 日および 17 日に選考委員会を開き、助成対象を決めた。応募は 266 件(音楽 142 件、美術 124 件)あり、前年度の 324 件から 58 件減少した。前年度からの延期事業を加え、173 件(音楽 103 件、美術 70 件)に対して 3523 万円を予算枠としたが、途中で音楽 2 件 50 万円の中止から延期への再申請があり、175 件 3573 万円に助成総額を拡大した。ところが今年度もコロナ禍で事業の中止、延期が余儀なくされ、音楽分野では中止 17 件 490 万円、延期 7 件 135 万円、美術分野では中止 7 件 110 万円、延期 2 件 40 万円が生じた。結果、142 件に 2798 万円を助成し、775 万円を 2021 コロナ感染症対策積立金に計上し、2022 年度の事業への助成に充てる。助成した事業(助成先・助成対象)は資料①-1~5 の通り。

#### 2)【文化財保護助成】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第 4 条 2 の事業)

2020 年 9 月 19 日に開かれた選考委員会で、2021 年度助成実施対象事業として応募があった 45 件の中から、京都・清凉寺の重要文化財「釈迦堂縁起」絵巻などの保存・修復など 30 件に対して総額 5658 万円の助成を決定したが、資料②の通り最終的に 1 件 3 万円の減額があり、計 5655 万円を助成した。

#### 3)【朝日賞の贈呈】(公益財団法人 朝日新聞文化財団 定款第 4 条 3 の事業)

2021 年度の朝日賞は、下記の 4 氏に贈呈された。

◇俵 万智(たわら・まち、59 歳) 歌人

「現代短歌の魅力を伝え、すそ野を広げた創作活動」

◇松岡 和子(まつおか・かずこ、79 歳) 翻訳家

「シェークスピア全戯曲の翻訳」

◇影山 龍一郎(かげやま・りょういちろう、64 歳) 理化学研究所脳神経科学研究センター長

「発生過程を制御する生物時計遺伝子の解明」

◇鳥居 啓子(とりい・けいこ、56 歳) 米テキサス大学オースティン校教授

「植物の成長制御と気孔の発生メカニズムの解明」

受賞者の業績と横顔は 2022 年 1 月 1 日の朝日新聞に掲載された。

今年度は、贈呈式は開催し 4 氏に正賞のブロンズ像(彫刻家で 1988 年度朝日賞受賞者の佐藤忠良氏の作品「陽」と副賞 500 万円(1 件につき)が贈られ、朝日新聞デジタルを通じてオンラインで受賞の喜びが伝えられた。祝賀パーティーは、コロナ禍のため中止とした。

#### 4)【大阪国際フェスティバル】(公益財団法人朝日新聞文化財団 定款第 4 条 4 の事業)

2021 年の大阪国際フェスティバルは 4 月から 9 月に、大阪・中之島のフェスティバルホールを会場に、計 3 演目 3 公演を予定していたが、コロナ禍で 1 公演を 2022 年度に延期、2 公演は入場制限下での開催となった。大きく損益が悪化したが、文化庁の ArtsForTheFuture という芸

術活動事業に対するコロナ禍での損益悪化を補助する制度に応募したところ、1500 万円の補助金が獲得できた。このことで大きく事業収支を改善できた。

4月17日

大阪4大オーケストラスペシャル〜4オケの4大シンフォニー2021

4者4様「古典をめぐる旅」と題し、以下の演目が演奏された。

日本センチュリー交響楽団:ベートーヴェン交響曲第8番

大阪フィルハーモニー交響楽団:ショスタコーヴィチ交響曲第5番

大阪交響楽団:メンデルスゾーン交響曲第4番イタリア

関西フィルハーモニー管弦楽団:シベリウス交響曲第2番

6月5日

大阪交響楽団×関西二期会

ジョアキーノ・ロッシーニ作曲オペラ泥棒かささぎ(演奏会形式)は、新型コロナウイルス感染拡大により、翌年度に延期した。これにより、協賛金、入場料の返金が生じた。

9月23日

新国立バレエ団 竜宮〜亀の姫と季の庭〜

入場制限下での開催となった。

\*4月18日

東京都交響楽団 大阪特別公演

提携公演として、指揮:大野和士、ティンパニ:安藤芳広で以下の演目が演奏された。

カレヴィ・アホ:ティンパニ協奏曲(2015)[日本初演]

マーラー:交響曲第1番 二長調《巨人》

ジョアキーノ・ロッシーニ作曲オペラ泥棒かささぎ(演奏会形式)

## ■ 管理運営関係等

### ◇ 諸会議の開催

- ① 第1回理事会(2021年5月14日) ※決算関連・書面
- ② 第2回理事会(2020年6月1日) ※報告事項・オンライン会議
- ③ 第1回定時評議員会(2021年6月1日) ※決算関連・オンライン会議
- ④ 第3回理事会(2021年6月1日)※人事承認・オンライン会議
- ⑤ 第4回理事会(2021年6月15日)※株主議決権関連・書面
- ⑥ 第5回理事会(2022年1月14日)※人事承認、運用決議・書面
- ⑦ 第2回臨時評議員会(2022年1月25日) ※人事承認・書面
- ⑧ 第6回理事会(2022年3月1日)※予算関連・オンライン会議
- ⑨ 2021年度・文化財保護助成選考委員会(2021年9月11日)
- ⑩ 2021年度・朝日賞選考委員会(2021年9月27日~12月1日)
- ⑪ 2021年度・芸術活動助成選考委員会(2022年2月1日、2月10日)

◇諸会議の結果

① 第1回理事会

\*開催方法:書面表決

\*理事会の決議があったものとみなされた日:2021年5月14日

\*決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意

\*決議事項:「事業報告、収支決算」について承認した

② 第2回理事会

\*開催方法:オンライン会議

\*理事会の決議があったものとみなされた日:2021年6月1日

\*決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意

\*報告事項:「理事長、常務理事の職務状況報告」についての報告が了承された

③ 第1回定時評議員会

\*開催方法:オンライン会議

\*評議員会の決議があったものとみなされた日:2021年6月1日

\*決議方式:定款第25条に基づく書面決議で評議員全員が賛成

\*決議事項:「事業報告、収支決算、理事7名の選任、議事録署名人の選任」について全員一致で承認した

④ 第3回理事会

\*開催方法:オンライン会議

\*理事会の決議があったものとみなされた日:2021年6月1日

\*決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意

\*報告事項:「代表理事の互選、常務理事の互選、朝日賞選考委員1名の選任」について全員一致で了承した

⑤ 第4回理事会

\*開催方法:書面表決

\*理事会の決議があったものとみなされた日:2021年6月15日

\*決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意

\*決議事項:「朝日新聞株主総会にかかるすべての事案への賛成とテレ朝FD株主総会にかかる自己株取得反対とそれ以外の賛成」について承認した

⑥ 第5回理事会

\*開催方法:書面表決

\*理事会の決議があったものとみなされた日:2022年1月14日

\*決議方式:定款第42条に基づく書面決議で理事全員が賛成、監事2人も同意

\*決議事項:「評議員1名の辞任と推薦、債券購入」について承認した

⑦ 第2回臨時評議員会

\*開催方法:書面表決

\*評議員会の決議があったものとみなされた日:2022年1月22日

\*決議方式:定款第25条に基づく書面決議で評議員全員が賛成

\*決議事項:「評議員1名の辞任と選任」について全員一致で承認した

⑧ 第6回理事会

\*開催方法:オンライン会議

\*理事会の決議があったものとみなされた日:2022年3月1日  
\*決議方式:定款第42条に基づく電磁的な決議で理事全員が賛成、監事1人も同意  
\*決議事項:「22年度事業計画、収支予算、特別費用積立計画、資金運用計画、22年度定時評議員会招集、理事長・常務理事の職務状況報告、22年度第1回理事会の書面決議、第2回理事会の開催」について承認した

⑨ 2021年度・文化財保護助成選考委員会

\*日時:2021年9月11日  
\*場所:リアル+オンライン会議  
\*出席者:選考委員7名中7人(有賀祥隆、武田佐知子、根立研介、広瀬和雄、本田光子、高妻洋成、中村俊介)  
\*選考結果:2022年度実施の対象事業として応募があった34件の中から継続複数年事業を含め、県指定文化財「旧吉田家住宅主屋外構整備事業」(岩手県)の保存・修復など24件に計4611万円の助成を決定した。

⑩ 2021年度・朝日賞選考委員会

\*日時:2021年12月1日  
\*場所:東京都中央区築地の朝日新聞東京本社本館15階  
\*出席者:選考委員9名(青柳正規、伊東豊雄、梶田隆章、榊裕之、田中啓二、野田秀樹、上野千鶴子、角田克、中村史郎)

⑪ 2021年度・芸術活動助成選考委員会

A) 音楽分野

\*日時:2022年2月1日  
\*方法:テレビ会議  
\*出席者:沼尻竜典、白石美雪、丸山玄則(以下、書面出席)、酒井忠康、建畠哲、大西若人、以上6名(選考委員総数6名)  
\*選考結果:2022年度実施の対象事業として応募があった204件の中から、「東京オペラプロデュース第108回定期公演」((特非)東京オペラプロデュース)など87件に総額1085万円の助成を決めた。

B) 美術分野

\*日時:2022年2月10日  
\*場所:東京都千代田区丸の内の朝日新聞文化財団事務所  
\*出席者:酒井忠康、建畠哲、大西若人、(以下、書面出席)、沼尻竜典、白石美雪、丸山玄則、以上6名(選考委員総数6名)  
\*選考結果:2022年度実施の対象事業として応募177件の中から、U-35若手建築家による展覧会2022((特非)アートアンドアーキテクトフェスタ)など68件に総額890万円の助成を決めた。

以上